



かがやき

- 協働
- 人権
- 生涯学習・文化・スポーツ



かがやき

5年後の目標

協働

地縁型・テーマ型の多様な市民活動が展開され、ふれあいと交流、協働によって、まちが元気になっている。

●概況●

令和5年1月に「長岡京市助け合いとつながりのまちづくり条例」を施行しました。条例の理念を実現するため、多様な市民と市が共にまちづくりを自分ごととして捉え考える場「まち活 MTG」を設置しました。幅広い年齢層や様々な考え方を持つ市民が自治活動や協働について考え、実践に繋がりはじめています。

自治会加入率は年々低下していますが、持続可能な自治会活動や、自治活動の多様な考え方・あり方を取り入れる取組も動き始めています。一方でテーマ型の市民活動として活発に活動を展開している団体もあります。

今後、こうした地域を支える団体の活動が継続的に展開されるよう個々の実情に応じた支援が求められます。

施策

自治活動の促進

5年後の姿

地域住民の間につながりが生まれ、防災・防犯や環境保全等、地域が主体となった活動が行われている。

市民活動の活性化と連携の促進

5年後の姿

経験や趣味を活かしながら市民活動に参画する人が増え、団体の活動や団体相互の協働がまちづくりの力になっている。

■関連計画、条例など

*長岡京市助け合いとつながりのまちづくり条例 *長岡京市市民協働のまちづくり指針 *長岡京市市民協働のまちづくり推進プラン

主な取組

かがやき

地域活動・市民活動

- ◇ 自治会業務のデジタル化支援などの自治会運営の負担軽減を図り、各地域の実情に応じて必要な支援を行います。
- ◇ 自治会未組織地域に対してはマンション等みなし自治会や自主防災組織の立上げを支援するなど、被災時に助けあえる地域づくりを入口に、地域自治の活性化策を探り、支援します。
- ◇ 地域集会所の老朽化対応やバリアフリー化など、新陳代謝を図る取組を支えます。
- ◇ 校区コミュニティ協議会を中心として、校区単位の団体間連携を進めることで、校区内共助機能の強化を図ります。

- ◇ 市民活動サポートセンターとまち活 MTG 事業との連携を進めるほか、市民活動のスタートアップから専門的な活動まで、各段階に応じた伴走支援体制を構築します。
- ◇ 市民活動サポートセンターの機能として、市民活動に加えて自治会など地縁型団体も含めて支援することで、団体間、市民間のネットワークを創出します。
- ◆ 市民参画の機会を増やすため、オンラインプラットフォームなど新たな手法も研究しながら、市民間コミュニケーションの活性化を図ります。



かがやき

5年後の目標

人権

一人ひとりの人権が尊重される居心地のよいまちで、誰もがその人らしく、自らの個性と能力を発揮している。

●概況●

関係団体・機関との連携や地域の見守り機能の強化を通して、人権擁護を図っています。特に性的指向や性自認に関わらず自分らしく生きられるようパートナーシップ宣誓制度の導入や都市間連携にも取り組みました。

情報技術の発達に伴って、人権侵害の態様は複雑化し、深刻な事例も後を絶ちません。

女性の社会進出は介護や子育てを巡る環境など社会を大きく変えました。この流れを止めることなく、行政はあらゆる分野での女性の活躍を進めるために支援していく必要があります。

戦後 80 年を過ぎ、戦争の記憶を持つ人が減っていく中で、「いのち輝く長岡京市平和都市宣言」に基づいて、幅広い市民層に対して、平和の大切さをたゆまず啓発することが求められます。

施策

人権・平和を尊ぶまちづくり

5年後の姿

一人ひとりが確かな人権意識と平和を尊ぶ心を持ち、差別と人権侵害に対して考え行動する力を有している。

多様性を認め合う共生とインクルージョンの実現

5年後の姿

一人ひとりが多様性を認め合い、かけがえのない社会の一員として、共に支え合いながら暮らすことのできるインクルーシブな社会を築いている。

■関連計画、条例など

*長岡京市人権教育・啓発推進計画 *長岡京市教育振興基本計画 *いのち輝く長岡京市平和都市宣言
*長岡京市男女共同参画推進条例 *長岡京市男女共同参画計画 *誰もが共に自分らしく暮らす長岡京市障がい者基本条例 *長岡京市障がい者(児)福祉基本計画

主な取組

かがやき

人権

- ◇ 人権を尊重し、様々な人権問題の解消に取り組む市の方針を明確にし、施策を展開することで、市民の人権意識を高め、互いに尊重し合える社会を実現します。
- ◇ 増加するインターネットや SNS による人権侵害に対し、関係機関と連携し的確に対応します。
- ◇ 戦後 80 年を越え、戦争の記憶が薄らぐ中で、「平和」の大切さや命の尊さという価値観を次世代へ継承できる事業を実施します。

- ◇ 男女共同参画センターにおいて、相談スペースのリデザインや出張相談、相談カフェなど女性が相談しやすい環境を作ります。
- ◇ 困難な問題を抱える女性を支援するため、民間団体と協働する体制を構築します。
- ◇ 「にじいろ企業登録制度」を通して、講演会や相談会の実施など、企業や事業所と行政が一体となって普及・啓発を進め、性の多様性への理解を促進します。
- ◇ 障がいや障がい者を取り巻く環境への理解を深めると共に、社会的バリアの解消に努め、「合理的配慮」が自然に行われる社会を目指します。

SDGs
該当分野





かがやき

5年後の目標

生涯学習・文化・スポーツ

誰もが学びの喜びに満ち、文化や歴史に親しみ、運動・スポーツを楽しむ機会が充実し、生活にうるおいと心身の健康を感じている。

●概況●

多くの市民が公共施設を活用し、文化・芸術・スポーツ活動に積極的に参加しています。その中で、「する」「みる」「ささえる」といった様々な活動を通して、新たな知識や仲間との出会いを生み出しています。市民生活の身近なところで、日常的に文化やスポーツに親しむ場と機会の充実を図ることにより、市民の諸活動を更に活発にし、文化・学習活動を広げ、健康、体力を保持増進するきっかけとなることが求められます。

長年、市内各所の文化財の発掘・調査を進めており、令和4年度には「長岡京市文化財保存活用地域計画」が文化庁の認定を受けました。貴重な文化財を後世へ伝え、市民共有の財産としていく取組が必要です。

施策

生涯学習環境の充実

5年後の姿

誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間と共に学びを楽しんで、自己実現に繋げている。

文化・芸術の振興

5年後の姿

ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつくっている。

スポーツの振興

5年後の姿

心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。

■関連計画、条例など

*長岡京市教育振興基本計画 *長岡京市スポーツ推進計画

主な取組

かがやき

生涯学習・文化スポーツ

- ◇ 生涯学習に関する講座情報を一元化し、市民が必要な情報にアクセスしやすくします。また、各種講演の録画配信など生涯学習の機会を拡充します。
- ◇ 人材データベースを開設(情報の一元化)し、生涯学習やボランティアなど様々な場面で市民が活躍できるマッチングシステムを構築します。
- ◇ 図書館は蔵書の充実に加え、様々な世代が憩う場になるよう、ユニバーサルデザインの視点も入れながらリノベーションします。
- ◇ 図書館、中央公民館、京都府長岡京記念文化会館のエリアは、京都府と連携し、市域の文化ゾーンとしてリニューアル整備を進めます。

- ◇ 文化・芸術のさらなる推進を図るため、長岡京記念文化事業団との連携や文化イベントの開催・文化団体の運営支援を通して、質の高い文化芸術の提供と市民による文化活動の機会確保に取組みます。
- ◇ 長岡京芸術劇場の充実や市立中学校吹奏楽部とプロの楽団との連携など、こどもが音楽や演劇などの文化に触れる機会を創出します。
- ◇ 障がいのある人となない人が共に芸術に親しみ、共に活躍できる場づくりに取組みます。
- ◇ 歴史資料展示室で、市内の文化財や歴史資料などを活用した企画展の開催や最新のデジタル技術を使った展示など、市内文化財の周遊拠点としての機能を発揮します。併せて、埋蔵文化財の保管体制を強化し、活用を進めます。

- ◇ ニュースポーツ(ファミリーバドミントン、ミニバレーボール等)など幅広い年代で楽しめるスポーツの普及を通して、生涯にわたるスポーツライフを提案します。
- ◇ ボッチャ大会などインクルーシブな取組を通して、障がいのある人となない人が共に楽しみ、共に活躍できるスポーツ環境を整えます。
- ◇ こどもの体力・運動能力向上を目指し、親子参加やこども向けのスポーツイベント、遊べる場所の整備に取組みます。
- ◇ 公共施設の再編を通じて、スポーツを「する」環境の充実を図ります。

SDGs
該当分野





まち

- 市街地
- 道路・交通
- 産業
- 防災・安全



市街地

自然環境、都市機能と住生活の調和が保たれたまちで、市街地の魅力向上が展望できる。

●概況●

長岡天神駅東口広場公園の開園、JR 長岡京駅東口駅前広場の整備、市役所新庁舎(1期)の完成など、中心市街地における都市基盤整備を進めています。

令和 8 年度には新庁舎の整備を終え、阪急長岡天神駅周辺が本市の市街地整備における大きな課題となります。都市活力の維持・向上のために、にぎわいのある中心市街地の整備と合わせ、高齢者等の移動負担が軽減され、誰もが暮らしやすいコンパクトなまちづくりが求められます。

本市が形成してきた西山の自然と良好な住環境、商工業が調和するまちを維持していくことも重要です。

長岡京市では、法律上の「空家」に加え、長屋建てにある住戸を含めて、「空き家」と定義しています。

施策

中心市街地整備の推進

5年後の姿

「ひと中心のにぎわいのあるまち」をコンセプトとした阪急長岡天神駅周辺のまちづくりが進展している。

調和のとれた都市形成

5年後の姿

住・工・商・農の調和がとれたうるおいのある都市空間が形成されている。

■関連計画、条例など

*長岡京市まちづくり条例 *長岡京市都市計画マスタープラン *阪急長岡天神駅周辺整備基本計画
*長岡京市公共施設等総合管理計画 *長岡京市空き家等対策の推進に関する条例 *長岡京市空き家対策計画

主な取組

- 
- ◇ 阪急長岡天神駅西地区は、土地の高度利用を図り、駅前広場やにぎわいのある都心拠点の整備に向けた計画を地域と連携して具体化します。
 - ◇ 阪急長岡天神駅東地区は、連続立体交差化を見据え、事業化を視野に入れた土地の公有化や補助幹線道路の整備などを段階的に進めていきます。
 - ◇ JR 長岡京駅東口や市役所の市民広場など居心地の良い公共空間の整備により、にぎわいと魅力ある中心市街地をつくります。

まち

市街地

- 
- ◇ 経済振興や事業所の集積・流出防止のため、市域全体の土地利用の適正化に向けた議論を進めます。
 - ◇ 今後増加が予測される管理不全の空き家の発生を未然に防ぐため、情報発信と行政プラットフォームや空き家バンクの運用を通じた流通及び利活用の促進に取り組みます。
 - ◇ 既存マンション管理組合に対して、管理計画の認定や専門家の派遣を行うなど、適正な維持管理を支援します。



道路・交通

道路の整備や、交通のネットワーク化が進み、誰もが移動しやすいまちになっている。

●概況●

本市は鉄道や主要幹線道路の利便性が高く、路線バスとコミュニティバスの運行により、市街化区域のほぼ全域を鉄道駅勢圏及びバス停勢圏で網羅しています。

過度に車に依存しなくても暮らせるまちづくりを目指し、人口減少やライフスタイルの変化、環境、健康、安全面に配慮した、将来にわたって使い続けられる交通システムが必要です。

通学路など歩行者を優先した道路空間や自転車ネットワーク路線の整備など、歩行者・自転車共に安全・安心に移動できるまちづくりを進めます。

施策

交通ネットワークの充実

5年後の姿

多様な移動手段による交通ネットワークが充実し、市民・来訪者が安全・円滑に移動できる環境が保たれている。

道路空間の整備

5年後の姿

歩車道の維持管理や再整備、バリアフリー化が進んで、道路空間の安全性と快適性が向上している。

■関連計画、条例など

*長岡京市公共交通に関する条例 *長岡京市地域公共交通ビジョン *長岡京市安全で快適な自転車の利用の促進に関する条例 *長岡京市自転車活用推進計画 *長岡京市障がい者(児)福祉基本計画

主な取組

- ◇ 地域公共交通計画に基づき、パークアンドライドの促進を目指した駐輪場や駐車場の設置・運営など、自家用車に依存しない、鉄道駅を拠点とする持続可能な地域公共交通ネットワークの実現を目指します。
- ◇ 地域公共交通基金など様々な財源を確保しながら、地域公共交通ネットワークを維持するため、担い手の確保を含めた交通事業者への支援を充実します。
- ◇ 地域公共交通基金など様々な財源を確保しながら、幅広い世代を対象とした利用者への支援、モビリティ・マネジメント等の利用促進策に取組み、地域公共交通ネットワークを利用の側面からも支えていきます。
- ◇ 自家用車に依存したライフスタイルからの転換を目指す一環として、自転車ネットワークの整備を進めます。

- ◇ 将来を見据え、長岡京駅前線や京都府と連携した御陵山崎線の整備を進めます。
- ◆ 京都府と連携し、通学路の歩道整備や交差点の改良など安全対策を進めます。
- ◇ 生活道路における計画的な舗装復旧や歩行空間の確保によるバリアフリー化を進めます。
- ◇ 橋梁の長寿命化を推進し、適切に維持管理します。

まち

道路・交通



まち

5年後の目標

産業

地域内の経済循環が高まり、さらなるまちの魅力・活力の創出により市内外からの新たな交流が生まれている。

●概況●

本市は、製造業を中心とする企業が立地し、建設業、小売業、飲食サービス業等、バランスの取れた多様な産業構造を有しています。地域経済の持続的発展には、企業の立地促進と流出防止、市内事業所の大部分を占める中小企業の振興を継続することが重要です。

市内各所に魅力的な観光資源が点在しています。これらを活用し、地域の「稼ぐ力」、観光の目的地、定住へと繋がる観光の振興が求められています。

農地が市街地の中にもあり、まちに緑とうるおいをもたらしていることが本市の特長ですが、農業の担い手不足や、有害鳥獣による被害などの問題を抱えています。安定した農業経営と農地の保全を図ることが重要です。

施策

商工業・観光の振興

5年後
の
姿

工業が都市活力の基盤となり、商業・観光がまちににぎわいと交流の好循環をもたらしている。

営農支援

5年後
の
姿

安定した農業経営と農地の保全により、都市と農地との共生が図られている。

■関連計画、条例など

*長岡京市企業立地促進条例 *長岡京市創業支援計画 *新・長岡京市観光戦略プラン *長岡京農業振興地域整備計画 *農業経営基盤強化促進基本構想 *長岡京市鳥獣被害防止計画

主な取組

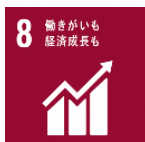
まち

産業

- 
- ◇ 中小企業振興基本条例に基づき、中小企業や関係団体、市民、行政等が一体となり、地域内の経済循環に取り組めます。特に、事業者が主体となった経済循環のためのプラットフォーム構築を支援します。
 - ◇ 金融機関や関係団体と連携し、創業や事業承継、中小企業の持続的な成長を図るための支援をします。
 - ◇ 中心市街地における企業誘致や商業誘導とあわせて、工業系地域における既存企業の流出防止を図り、地域経済の発展に繋がります。
 - ◇ 観光戦略プランを推進し、地域の魅力をつくる事業者の発掘や連携強化により魅力ある観光コンテンツの組成を進め、集客や観光消費の喚起に繋がります。
 - ◇ 旅行会社やメディア等へ積極的に働きかけを行い、本市を含むツアー造成や情報発信に繋がります。更に広域的な取組により「京都西山」のブランド力を強化します。

- 
- ◇ 高品質な農産物の生産、多様な販路の活用、担い手への農地集積など農業の経営基盤の強化や効率化に向けて支援します。
 - ◇ 農業経営の改善を計画する農業者を支援し、意欲ある担い手によって担い手不在の農地が活用されるよう進めます。
 - ◇ 朝市や軒先販売、イベント等での直売を通して地元農産物の魅力を発信すると共に、学校給食での利用を拡大することで、地産地消を促進し地域農業の活性化に繋がります。
 - ◇ 獣害防護柵や有害鳥獣捕獲などの対策を強化することで、農作物の被害軽減を図ります。

SDGs
該当分野





防災・安全

防災機能が強化されたまちで市民生活の安全が守られ、地域のつながりが日常生活の安心を育んでいる。

●概況●

南海トラフ巨大地震が今後30年以内に発生する確率が80%程度に引き上げられたことに伴い、地震対策への要請がより一層強まっています。また、全国各地で豪雨災害が頻発しており、浸水等の対策の重要性も高くなっています。

防犯・交通安全などの日常の安心は、地域や市民一人ひとりの意識と行動で保たれていますが、高齢者による交通事故の対策や通学路の環境整備に対するニーズも高まっています。

防災施設の機能向上と共に、市民、地域と連携した防災・防犯などの対策の強化が重要です。

施策

都市防災機能の向上

5年後の姿

地震や浸水被害などから市民の生命・財産が守られるよう、自然との調和を保った防災・減災の対策が図られている。

災害時に生きるネットワークづくり

5年後の姿

発災時に共助の体制が早期に確立されるなど、地域のネットワークが形成されている。

安全・安心な地域づくり

5年後の姿

防犯・交通安全など、毎日の暮らしの安全・安心を共につくる地域の力が保たれている。

■関連計画、条例など

*長岡京市地域防災計画 *長岡京市国土強靱化地域計画 *長岡京市建築物耐震改修促進計画

主な取組

まち

防災・安全

- ◇ いろは呑龍トンネル整備事業に合わせた接続工事と、神足雨水ポンプ場など犬川の浸水対策を進めます。
- ◆ スtockマネジメント計画を策定し、污水管路施設の老朽化対策・耐震化に向けた長寿命化を進めます。
- ◇ 避難所生活における QOL の向上に努め、学校の空調設備、災害時応急給水栓の設置、生活用水を確保するための井戸の整備に取り組めます。
- ◇ 防災重点農業用ため池の防災・減災対策を進めます。
- ◇ 住宅や建築物の耐震診断・耐震改修を支援します。
- ◇ 東ポンプ場跡地を活用し、小畑川以東の防災対策に取り組めます。

- ◇ 防災訓練や防災フェスタに工夫を凝らし、出前ミーティングや広報紙を活用して、災害時の対応や減災の取組、備蓄に関する知識の普及など防災や共助の意識の向上を図ります。
- ◇ 防災士など地域防災を担う人材を育て、校区ごとの災害ボランティアセンター設置運営訓練や災害時声かけ隊など、災害発生時の地域における共助の仕組づくりを支援します。
- ◇ 災害時要配慮者支援体制の充実のため、市や府、専門機関が連携しながら、地域と協力して個別避難計画の策定を進めます。

- ◇ 警察と連携して、交通ルールの遵守、交通安全の知識やマナーの普及を進め、特に自転車と高齢者の交通事故対策に重点的に取り組めます。
- ◆ 京都府と連携し、通学路の歩道整備や交差点の改良など安全対策を進めます。
- ◇ 防犯カメラ整備による見守り機能の充実や、警察と連携した特殊詐欺対策など安全・安心なまちづくりを進めます。



みどり

脱炭素・環境共生

持続可能なまちづくり

地域環境力の向上

西山の整備

生活環境

ごみの減量と適正処理

生活環境の保全

都市環境

魅力的な公園の整備

都市緑化と水辺環境整備

良好な景観の保全

水資源

水資源の保全

水の安定供給

下水の適正処理

- 脱炭素
- 資源循環
- 環境共生
- 都市環境
- 水資源



みどり

5年後の目標

脱炭素・環境共生

持続可能な社会づくりのために行動する人の輪が広がり、
温室効果ガスの排出量が大きく削減されている。西山の
森林の美しさと生物多様性が保たれている。

●概況●

脱炭素社会への転換を目指し、省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの普及に取組み、令和4年に「2050年ゼロカーボンシティ」を宣言しました。市域の温室効果ガス排出量の削減には、市民・団体・事業者等との連携も重要です。

最大限の気候変動の「緩和策」を講じ、それでも気温上昇してしまう世界に適應するための「適応策」も求められます。

「自然と共生する持続可能な社会」の実現のため、世代を超え、市民と企業などが協働することが重要です。更に、各主体が環境問題を「自分ごと化」し、率先した取組を進めていく地域環境力の向上が求められます。

西山森林整備推進協議会を立上げ、西山の整備を始めて20年以上が経過し、市域内の森林の整備が進んでいます。豊かな森を未来に継いでいくために、多様な主体と連携して西山の保全を図ることが必要です。

施策

持続可能なまちづくり

5年後
の姿

省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの普及が進み、環境への負荷がさらに低減している。

地域環境力の向上

5年後
の姿

“環境の都”長岡京の実現に向け行動する人の輪が広がっている。

西山の整備

5年後
の姿

市民・企業等の協働によって西山が整備され、健全な状態で維持管理されている。

主な取組

みどり

脱炭素

- ◇ 2050 年ゼロカーボンシティに向け、より一層の省エネルギー推進と再生可能エネルギーの普及を進めるため、COOL CHOICE 事業を推進し、脱炭素社会への転換を目指します。
- ◇ 関係機関と連携し、家庭や事業者等へ、太陽光発電に代表される再生可能エネルギーやエコ建築、省エネ行動の啓発を行うと共に、将来的な気候変動に適応していくため、事業者への情報提供など、庁内横断的に適応策を進めていきます。
- ◇ 公共施設の整備時には、施設の特性を踏まえつつ、太陽光パネルや省エネ設備の導入を進めると共に、環境性能に関する評価指標を意識するほか、雨水や木材の利用など総合的な環境性能に配慮した整備を行います。また、公共施設で使う電気についても、CO₂ フリーにする手法の検討を行います。

- ◇ 環境都市宣言に掲げる「自然と共生する持続可能な社会」を実現するため、市民・団体・事業者等とのパートナーシップによる取組を進めると共に、自然に親しむ事業等を通して、自然を守ろうとする気持ちの醸成を促す環境学習会等を開催します。
- ◇ 行政から市民への啓発だけでなく、地元団体や事業者と共に環境フェア・農業祭を開催するなど、市民から市民への啓発・市民同士の交流の機会を創出し、環境問題をより身近な問題として捉える「自分ごと化」を促します。
- ◇ 気候変動による影響を大きく受ける若い世代の声を聞き、社会へと発信・啓発します。
- ◇ 市民、団体、事業者等あらゆる主体の参画・協働を促すため、身近な問題と関連づけた啓発や、取組効果の見える化など、多様な啓発を行います。

- ◇ 西山森林整備構想に基づく計画的な森林整備を継続し、産官学民連携による西山森林保全活動を推進します。
- ◇ 西山が持つ公益的機能を向上させるため、人工林の間伐や二次林の改良、拡大竹林の整備等を継続的に実施します。
- ◇ 間伐等で発生する西山産材を公共建築物等へ利用し、木材の地産地消を通して脱炭素社会の実現に貢献します。

SDGs
該当分野





みどり

5年後の目標

生活環境

資源が効率よく循環する社会づくりが進んで、
市民生活による環境への負荷が小さくなっている。

●概況●

家庭系ごみ・事業系ごみ共に減少傾向にあります。

限られた資源の有効利用を進めるため、
ごみの発生抑制とリサイクルを推進します。

排出されたごみは、市と乙訓環境衛生組合で適正に処理していますが、より効率的かつ安定した処理体制となるよう、一段と取組を推進していく必要があります。また、快適で良好な都市環境の実現が求められます。

施策

ごみの減量と適正処理

5年後
の
姿

市民と行政の一体となった取組により、ごみの減量・分別と適正処理・リサイクルがいっそう進んでいる。

生活環境の保全

5年後
の
姿

大気・水質、騒音などの環境基準が守られ、自然環境と調和した、快適で健康的な生活環境が保全されている。

■関連計画、条例など

*長岡京市一般廃棄物処理基本計画

主な取組

- 
- ◇ ごみの減量に向けた市民の理解とマナーの向上を目的とする環境教育や、市内活動団体への支援を継続します。
 - ◇ 今後の処理施設のあり方も含めて、乙訓二市一町と乙訓環境衛生組合が協調して検討します。
 - ◇ ごみの出し方を分かりやすく広報すると共に、廃棄物減量等推進員とも協力し、「ごみ減量啓発キャンペーン」などを通してごみを出さないライフスタイルづくりを推進します。
 - ◇ 給食調理くずの飼料化やボトル to ボトルによるペットボトルの水平リサイクル、古紙回収活動団体への助成などにより再資源化を進めます。

みどり

資源循環

- 
- ◇ まちをきれいにする条例に基づき、適正に管理されていない空き地の所有者に改善に向けた対応を促します。
 - ◇ 犬の散歩におけるモラルの向上や地域猫の取組など適正飼養の啓発、ポイ捨て防止や「長岡京市における路上喫煙等の被害の防止に関する指針」による喫煙マナーの向上など、清潔できれいなまちづくりを進めます。
 - ◇ 安全・安心・快適な環境の中で暮らし、活動できるよう市独自の環境測定・監視を行います。



みどり

5年後の目標

都市環境

西山から農地・住宅地につながる緑の流れなど、魅力的な都市の景観が協働のもとでつくられ、守られている。

●概況●

幼児から高齢者までの多様な年齢層の人たちや、障がいのある人もない人も誰もが楽しみ、交流できるインクルーシブ公園の整備が進んでいます。

本市には、西山から農地・住宅地に繋がる豊かなみどりの流れがあります。身近なみどりは、1,000 人を超えるみどりのサポーターをはじめとする市民の手によって、大切に育てられています。こうしたみどりを市民と一緒に守り育てることが重要です。

自然景観、八条ヶ池や西国街道などの歴史的景観、これらと調和した秩序ある都市景観をつくり守ることが大切です。

施策

魅力的な公園の整備

5年後の姿

公園の中で、こどもが思いっきり遊び、親が安心して見守っている。

都市緑化と水辺環境整備

5年後の姿

公園や水辺などのみどりが暮らしに寄り添って、市民が憩える場が広がっている。

良好な景観の保全

5年後の姿

西山から市街地へ緑の流れが活かされた、うるおいあるまちのたたずまいが未来に引き継がれている。

■関連計画、条例など

*長岡京市景観計画 *第二期長岡京市都市計画マスタープラン *長岡京しみどりの基本計画 *公園施設長寿命化計画 *長岡京市第二期環境基本計画

主な取組

- ◇ 長岡公園の第二期整備、長法寺南原古墳の活用を視野に入れた西山公園の整備を進めます。
- ◇ 老朽化した公園施設の更新や修繕に際しては、長寿命化と併せたインクルーシブ公園づくりに取組みます。
- ◇ 住民や利用者など多様な主体の意見を取入れた公園の利活用やプレイリーダーの配置、指定管理制度など民間の創意工夫を活かして公園の魅力を磨いていきます。

みどり

都市環境

- ◇ みどりのサポーターや地域住民と協働で、公園の緑化や環境美化を進めます。
- ◇ 犬川遊歩道は、環境に配慮して整備を進めます。
- ◇ 水辺環境を保全・再生し、ホテルの棲むふるさとづくりに取組む団体を支援します。

- ◇ 「長岡京市景観計画」に基づき、地域特性に応じた景観形成を市民・事業者との協議により推進します。
- ◇ 西山や八条ヶ池をはじめとする長岡京らしい景観と調和する都市形成を図ります。
- ◇ 屋外広告物の表示・掲出について、良好な景観形成を促進する観点から一定の制限を行ないます。
- ◇ 道路・公園・河川・建物などの公共施設の整備においては、計画段階から景観に対する視点を取入れ、空間的・時間的な連続性・一体性を考えた良好な景観形成を牽引します。

SDGs
該当分野





みどり

5年後の目標

水資源

安全でおいしい水が供給され、使用後もきれいな水として^{かえ}還し、公共の水域の水質を保全している。

●概況●

西山が涵養する地下水と府営水の二元水源によって、安全な水道水を安定的に供給しています。適正揚水量を守った地下水の保全や、京都府営水道の効率的な水運用が重要です。

東第2浄水場の耐震補強工事が完了し、浄水施設の耐震化率が100%となりました。

家庭などで使用された水は、適正に処理し、河川の水質を確実に守ることが求められます。

上下水道ビジョンに基づき、老朽施設の更新や耐震化、効率的な水運用による安定的な供給が求められます。

施策

水資源の保全

5年後
の
姿

企業・市民の理解と協力のもと、地下水の適切な利用により、良質な水資源が保全・継承されている。

水の安定供給

5年後
の
姿

安全で良質な水道水が、安定的に供給されている。

下水の適正処理

5年後
の
姿

下水道施設・設備の更新が着実に進み、下水の適正な処理によって、公共用水域の水質が保全されている。

■関連計画、条例など

*長岡京市上下水道ビジョン *長岡京市下水道ストックマネジメント計画

主な取組

- ◇ 市民の関心が高い地下水資源を次世代に継承するため、適切な保全と利用について、市民・企業と共に考えます。
- ◇ 市内の井戸の水位及び使用量の観測を継続します。

- ◇ 将来にわたり、安全な水を安定的に供給できるよう、京都府や受水市町と連携しながら、水道事業の広域化について協議していきます。
- ◇ 水道水質基準の水質管理目標設定項目として検出状況を把握してきた PFOS・PFOA については、今後も国の最新基準や知見、動向等を注視し、検査場所や検査頻度等を見直すと共に、給水栓(蛇口)における水質の管理強化を図り、安全で良好な水の供給を行います。
- ◇ 老朽管路更新基本計画を見直しながら、材質(管種)や埋設場所の土質などに応じた更新基準や優先順位を検討し、計画的に管路の更新を進めます。

- ◇ 持続可能な下水道事業のあり方について、京都府とも連携し、ウォーターPPPの導入検討や執行体制の確保等の効率的な運営が可能となるよう議論します。
- ◆ ストックマネジメント計画を策定し、汚水管路施設の老朽化対策・耐震化に向けた長寿命化を進めます。

みどり

水資源



け
い
え
い

- 魅力の創造と発信
- 安定した行財政運営



魅力の創造と発信

誰もがいきいきと暮らせるまちの魅力が次世代に引継がれ、多様な主体が共にまちづくりを進めている。

●概況●

平成28年度にシティプロモーションガイドラインを策定し、市民・団体・企業等と行政が一体となり、多角的なシティプロモーション活動を展開しています。「かしこ暮らしっく」な本市の住み心地を維持しつつ、「住みたい 住みつづけたい」と思ってもらうために、さまざまな資源を効果的に活用し、持続可能で、より効果的なシティプロモーションを継続していく必要があります。

多様な主体との協働によるまちづくりとシティプロモーションの更なる好循環が重要です。

施策

シティプロモーション

5年後の姿

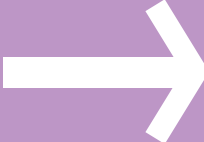
多様な主体が自律的にまちづくりに参画し、市民が地域に誇りと愛着を持ち、いつまでも住みつづけたいと感じるまち、市外の人が憧れるまちになっている。

連携と共創

5年後の姿

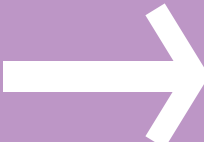
共に長岡京市の未来を語り、つくっていくために、市民等多様な主体との繋がりと対話ができている。

主な取組

- 
- ◇ ふるさと納税を活かした市の魅力発信に取り組めます。
 - ◇ 市民や事業者、本市のファンなど多様な主体と協働したシティプロモーションを展開します。
 - ◇ 長岡京ガラシャ祭が、多くの市民や企業に支えられて、広く市外からの来訪者にも愛される祭として盛上っていくよう支援します。

けいえい

魅力発信

- 
- ◇ 行政の様々な分野で企業との連携を深め、市民サービスの充実に繋がります。
 - ◇ 大学や市民活動団体など非営利組織との連携の輪を広げ、双方の知見を活用しながら、公的な課題を共有し、解決します。
 - ◇ 市長自ら積極的に市民と対話し、市民と行政、市民と市民との活発なコミュニケーションを基盤に、多様な主体が参画するまちづくりを目指します。
 - ◇ リアルなコミュニケーションを更に充実させながら、DXによる新たなコミュニケーションの場を積極的に開拓し、幅広い意見を市政に反映させます。
 - ◆ 市民参画の機会を増やすため、オンラインプラットフォームなど新たな手法も研究しながら、市民間コミュニケーションの活性化を図ります。



安定した行財政運営

基礎自治体として、市民の信頼が厚く、対話に基づいた自律的で持続可能な行財政運営を行っている。

●概況●

新庁舎の整備を契機として、デジタル技術やデータの活用による市民の利便性向上や、業務の効率化を進めてきました。今後もセキュリティを確保しつつ、誰もがデジタル化の恩恵を享受できる環境整備が求められます。

市民共有の資産である公共施設についても、「公共施設再編整備構想」に基づく効率的な管理と効果的な活用が重要です。

民間も含め人材獲得競争が激化する中、従来の発想にとらわれない人材確保・定着策の強化が求められます。

多様な人材が働きやすい職場となるよう、ワーク・ライフ・バランスを推進すると共に、人事制度、職員研修制度、職場環境の整備などにより、職員の持つスキルや能力を最大限に発揮できるようにすることが求められます。

施策

DXの推進

5年後の姿

「行かなくてよい」「書かない、待たない」市役所へと進化している。誰一人取残さないデジタル化を進めることで、高齢者や障がい者など全ての人にやさしい市役所となっていく。

安定した財政運営と資産の有効活用

5年後の姿

限られた財源を効果的・効率的に活用し、安定した財政運営が守られている。

魅力ある人財と組織

5年後の姿

職員の主体的な学びへの支援やワーク・ライフ・バランスが整った活力あふれる職場の中で、市民のニーズに、的確・迅速に応えられる人材が育っている。

■関連計画、条例など

*長岡京市市民協働のまちづくり指針 *長岡京市市民協働のまちづくり推進プラン *第5次長岡京市行財政改革大綱 *長岡京市上下水道ビジョン *人材育成基本方針

主な取組

- ◇ AIをはじめデジタル技術を活用し、市民にとって便利であることを追求すると同時に、行政サービスの質の向上を目指します。
- ◇ CIO(=最高情報統括責任者)をトップとして、デジタル化の取組を推進する中で仕事の見直しを進め、職員の作業負担を軽減し、対人業務の充実を目指します。
- ◇ デジタルデバインド対策を進め、高齢者や障がいがある人にとっても、便利な市役所をつくります。

- ◇ 事業効果の高い事業への重点投資や時代の変化に応じた事業の再構築など、メリハリの効いた予算編成を進めます。
- ◇ 金利負担の上昇を見据え、投資的経費の平準化のほか市債発行の多様化等により、公債費負担の抑制を図ります。
- ◇ ネーミングライツの導入や広告収入など歳入の多様化に取組みます。
- ◇ 市庁舎の完成等に伴い未利用となる公共施設の効果的な活用を努め、公共施設全体の機能再編を進めます。
- ◇ アセットマネジメントを推進することで、長期的な財政負担の軽減を図り、施設跡地など遊休資産を計画的に活用します。

- ◇ 組織体制について、市民への分かりやすさ、業務の効率、職員の働きやすさを視点として常にアップデートしていきます。
- ◇ 国や府などへ職員を派遣し、他機関との交流を通して多様な人材の育成を進め、人事・研修制度を多角的な視点で見直し、職員のエンゲージメントが高い組織をつくります。
- ◇ 職員の主体的なキャリア形成を支え、研修と併せて市民の期待を超える職員を育てます。
- ◇ 市の魅力・公務の魅力を発信することに加え、試験方法の工夫や外部人材の採用など、人材確保に努めます。職員数は再任用職員を含めた定員管理を継続します。
- ◇ ワーク・ライフ・バランスの実現やオフィス改革、育児休業等を取得しやすい職場風土づくりなど、働きやすい職場の実現に取組みます。

けいえい

都市経営



